

# 天然砥石 切れ味わって



## 京都「最後」の手掘り職人

砥石の奥深さを伝えよう 京都の天然砥石は仕上げと、亀岡市の天然砥石採掘 砥石と呼ばれるきめ細かな加工業者が砥石の展示と研ぎ比べの催しを10月1、2日に京都市内で行う。京都の山で採取した希少な砥石約200点を展示し、刃物に欠かせない砥石の魅力を市民や料理人らにアピールする。

1877年創業の「砥取家」の4代目、土橋要造さん(60)。今は、亀岡市の丸尾山坑内で採掘している。職人同士の縁で知り合った手描友禅職人の高橋周也さん(39)が自分が勤める工房での展示を企画した。

丸尾山をはじめ、閉山した山を含め六つの山から産出された約200種類を展示する。大かんな向けの大型砥石など用途もさまざまなものを用意する。

家庭の刃物の持ち込みもでき、各種砥石を使って研ぎ比べたり、研ぎ方の指導を受けられる。包丁の切れ味を見てもらうため、2日にはすしパー(有料、要予約)も設ける。砥石の即売も行う。

土橋さんは「研ぐと心が落ち着き、切れ味次第で料理の味も変わる。砥石の良さを知ってほしい」と話している。

午前10時〜午後6時に、中京区新町通二条上ルの手描友禅工房「高橋徳」075(211)1664で開く。入場無料。

(上野正俊)

中京です、あさって

## 展示と研ぎ比べ

砥石の研ぎ比べの準備をする土橋さん(手前)ら。京都市中京区・高橋徳